

令和6年度中予地方局予算事業成果表

1 基本事項

- (1) 事業名 重信川サイクリングロード魅力体験事業費
 (2) 事業期間 令和5年度～令和7年度
 (3) 所 管 地域産業振興部 地域政策課
 (4) 予算額 2,847千円

2 事業目的

子育て世代をはじめとした地域住民に対し、誰でも気軽に楽しめる重信川サイクリングロードの楽しみ方を発信するとともに、実際に体験してもらう体験コンテンツを提供することで、身近な「余暇の定番スポット」として定着を図り、周辺地域の活性化に繋げる。

3 主な取組（何をしたか）

- (1) 重信川サイクリングロード活性化推進実行委員会の運営
 ・ 構成員 中予地方局長（会長）、関係4市町担当部長等
 ・ 事業費 3,600千円（負担割合 県：市町＝1：1）
 (2) 重信川サイクリングロード魅力体験事業（実行委員会実施事業）

① 利用者数の実態調査

利用者数やその属性を把握しデータに基づく企画立案を行うため、人流データを活用した実態調査を実施した。

- 調査期間 令和5年10月18日～令和6年10月17日
 ○ 利用ツール KDDI Location Analyzer

② 「お出かけサイクリングコース」を活用したPRイベントア デジタルスタンプラリー、フォトキャンペーンの実施 お出かけサイクリングコースのお出かけスポットを巡るデジタルスタンプラリー、Instagram を活用したフォトキャンペーンを実施した。

- 実施期間 令和6年9月14日～11月30日
 ○ スポット数 24箇所 ○ 参加者数 304名

イ 桜のスポットを巡るサイクリング体験イベントの開催
 ロード沿線の桜スポットや公園等を巡るサイクリングイベントを開催した。

- 開催日程 令和7年3月29日 ○ 参加者数 29名

③ デジタルサイクリングマップの更新・周知

利用者に最新の情報を提供するため、デジタルマップの情報を適宜更新するとともに、パンフレットを配布した。

(3) 環境整備事業（県実施事業）

- ・ 重信川サイクリングロード上の案内看板の整備
 ロードの始点と終点に、フォトスポットとしても活用できる案内看板を設置した。



↑スタンプラリーポスター



↑桜イベントの様子



4 成果（何がどう変わったか）

利用者数の実態調査を通して、利用者の属性（性別・年代等）や行動傾向（どの時期、時間帯の利用が多いか等）を把握・分析した。

また、新たに取り組んだ桜のスポットを巡るサイクリング体験イベントでは、全参加者から高評価を得たほか、半数が初めてロードを利用するなど、ロードの魅力を経験する機会を創出し、利用者の裾野拡大につながったと考える。